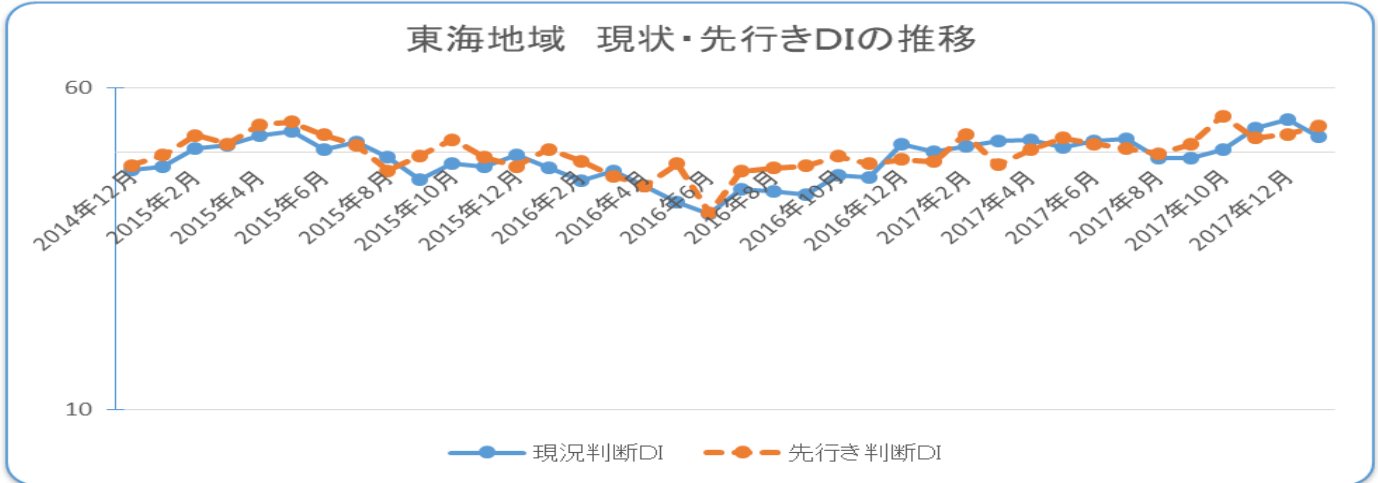


東海地域 現状・先行きDIの推移



◆東海地方 2018年1月 景気判断理由 一部抜粋

	分野	判断	判断の理由、追加説明及び具体的状況の説明、回答者属性
現状	家計 動向 関連	やや良	《販売量の動き》雪による来客数の減少が懸念されたが、翌日には天候が回復して、客足は順調である。野菜価格が高騰しているが、買い控えもなく、売上も順調に増加している。【スーパー（店員）】
		不変	《お客様の様子》客に年末年始の過ごし方やレジャーについて聞いても、出掛けた人は少なく、金を使っている様子はない。【美容室（経営者）】
		やや悪	《その他》天候不順、雪、氷点下になる日が多く、旅行を控える人が増える等マイナス要素が強い。来客数が減少しキャンセルも発生しており、取扱数や売上にも影響が出ている。【旅行代理店（従業員）】
	企業 動向 関連	やや良	《受注量や販売量の動き》観光客等、当地への来訪者数はそれほど変わらないが、飲食店等の景気は良さそうに見受けられる。外食機会も増えている。【食料品製造業（経営企画担当）】
		不変	《取引先の様子》自動車製造業や関連部品産業においては、生産量が多少増加している部署も減少している部署もあり、平均するとどちらともいえない。景気の動きとしては横ばいである。【金融業（従業員）】
		やや悪	《取引先の様子》年末頃まで忙しいと言っていた取引先が、年明けには暇になってきたと話している。稼働率の高い取引先が少なくなっている。【窯業・土石製品製造業（社員）】
	雇用 関連	やや良	《求職者数の動き》3か月前に比べて有効求職者数が13.7%増加する一方、有効求人数はほぼ同数で、有効求人倍率は1.64倍から1.92倍に上昇している。【職業安定所（職員）】
		不変	《その他》求職者数は減少し求人数の増加も変わらず、5か月連続で有効求人倍率が2倍を超える状況が続いている。【職業安定所（職員）】
		やや悪	
先行き	分野	判断	先行きに対する判断理由、回答者属性
	家計 動向 関連	やや良	新築の戸建て住宅やマンション、その他リフォーム工事等で消費税の引上げ前の駆け込み需要が始まっている。公共工事でも、2～3月にはリフォーム工事や大規模改修工事が出てくる。【住関連専門店（営業担当）】
		不変	利益の出ている法人客は、贈答品を購入して広告宣伝を行って、更に収益を得ようとする。個人客は財布のひもが固く、自家用には使うが、他人のために使える金はない状態が続いており、今後も変わらない。【一般小売店【贈答品】（経営者）】
		やや悪	おにぎりや弁当等、主力商品の数字が悪いと、今後は更に厳しくなることが多い。主力商品に金を使う客が少なくなっており、しばらくは今より厳しい状況になる。【コンビニ（エリア担当）】
	企業 動向 関連	やや良	中小企業では、大幅な賃上げにはまだ消極的だが、業績に応じてボーナスに反映しようとする動きもみられ、身の回りの景気としては、やや良くなる。【電気機械器具製造業（総務担当）】
		不変	軽油価格が前年比で約15円上昇し、苦しい状況は続くが、大手鉄鋼会社が円滑な輸送を確保するため、輸送運賃の値上げを受け入れるという明るい話もある。【輸送業（エリア担当）】
		やや悪	数字の上では景気が良くなっていると聞けが、生活面での実感は全くない。末端での景気は、これからも更に悪くなっていく。【印刷業（営業担当）】
	雇用 関連	やや良	4月1日入社を目指して、企業側は採用活動のスピードを上げる時期である。働く側でも、3月上旬までは転職に目を向ける人が増える。【民間職業紹介機関（営業担当）】
		不変	求人数の増加と求職者の減少は変わらないが、人手不足が中小零細企業の経営を圧迫する事案もあるため、景気としては上向きとはいえない。【職業安定所（職員）】
やや悪		労働契約法の関係で雇止めとなる派遣労働者が年度末に数%発生する。再雇用には半年のクーリング期間が必要なことから、人材確保がより厳しさを増す。【人材派遣会社（支店長）】	